

## 初診料・外来診療料の情報通信機器 を用いる診療について(オンライン診療)

当院では現在、小児科と緩和ケアの一部で  
オンライン診療をおこなっております。

通常の対面診療同様、医師が必要と認めた  
場合は、おくすりの処方も可能です。

しかし、初診で向精神薬の処方できません。

詳細につきましては、小児科または緩和ケア科  
へお問い合わせください。



# オンライン資格確認を行う 体制について

- ① 当院はオンライン資格確認を行う体制を有しております。
- ② マイナンバーカードを提示された患者さんにつきましては、薬剤情報、特定健診情報、受診歴、その他必要な情報（保険証情報等）を取得・活用して診療を行います。



# 医療 DX 推進体制整備加算 算定体制について

- ① オンライン請求を行っています。
- ② オンライン資格確認を行う体制を有しています。
- ③ 電子資格確認を利用して取得した診療情報を診察室で閲覧又は活用できる体制を有しています。
- ④ マイナンバーカードの利用について声かけ、ポスター掲示を行っています。
- ⑤ 電子処方せんや電子カルテ情報共有サービスを活用できる体制については現在準備中です。





とっても  
簡単!

# マイナンバーカード

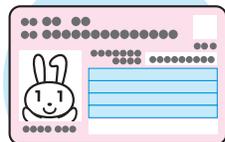
1



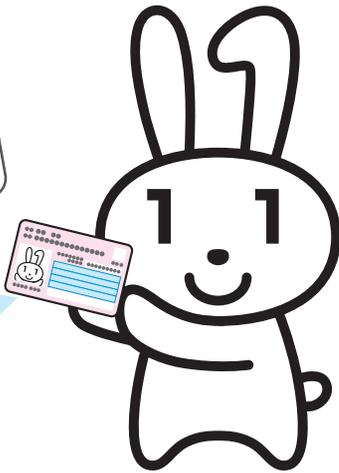
## 受付



マイナンバーカードを  
カードリーダーに  
置いてください。



マイナンバーカード



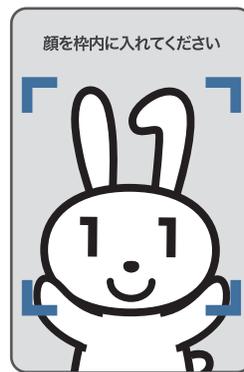
2



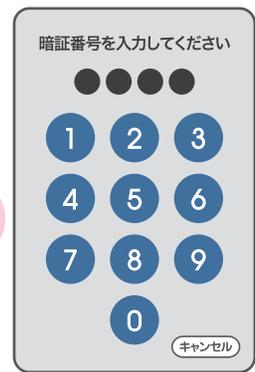
## 本人確認

顔認証または  
4桁の暗証番号を入力してください。

顔認証



暗証番号



or

3



## 同意の確認

診察室等での診療・服薬・健診情報の  
利用について確認してください。

過去の情報を  
利用いたします

過去の手術以外の診療・お薬情報を  
当機関に提供することに同意  
しますか。  
この情報はあなたの診察や健康管理  
のために使用します。

同意しない

同意する

(40歳以上対象)  
過去の情報を  
利用いたします

過去の健康情報を当機関に提供す  
ることに同意しますか。  
この情報はあなたの診察や健康管理  
のために使用します。

同意しない・40歳未満

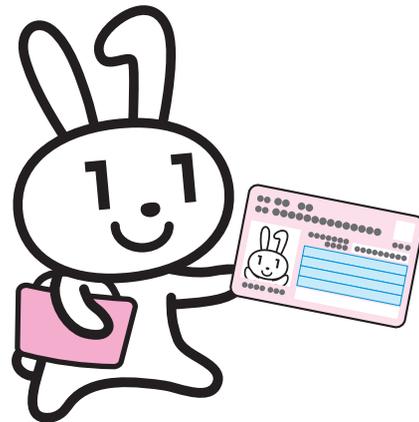
同意する

4



## 受付完了

お呼びするまでお待ちください。



カードを忘れずに!

医療DXを通じた質の高い医療の提供にご協力ください。

# ハイリスク妊産婦共同管理を 共同で行っている保険医療機関

当院は、ハイリスク妊産婦共同管理料（I）の施設基準の届出を行っております。ハイリスク妊産婦分娩管理を共同で行っている保険医療機関は次のとおりです。

病院名	住所	連絡先
新潟市民病院	新潟市中央区鐘木 463-7	025-281-5151(代)
新潟大学医歯学総合病院	新潟市中央区旭町通 1-754	025-223-6161(代)
長岡中央総合病院	長岡市川崎町 2041	0258-35-3700(代)
立川総合病院	長岡市旭岡 1-24	0258-33-3111(代)
新潟県立中央病院	上越市新南町 205	025-522-7711(代)

ハイリスク妊娠・分娩とは母子の生命や健康に重大な影響を与える要因をもった妊娠・分娩のことを言います。

## ハイリスク分娩に係る配置医師 助産師数、1年間の分娩件数

産婦人科医師	10名	(R8.1現在)
助産師	34名	(R8.1現在)
1年間の分娩件数	396件	(R7実績)

# 後発医薬品・バイオ後続品使用の取り組みについて

現在、わが国では患者負担の軽減や医療保険財政の改善のために、後発医薬品（ジェネリック医薬品）やバイオ後続品（バイオシミラー）の使用を促進しています。当院では薬剤部門において品質、安全性、安定した供給体制などの情報を収集しており、院内で使用する薬剤を後発医薬品やバイオ後続品に切り替えるよう積極的に取り組んでいます。

また、昨今の医療用医薬品の供給不足にかかる対応については、供給状況により医薬品を変更するなど適切に対応し、患者さんに十分に説明してまいります。

## 後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは

先発医薬品の特許終了後に、先発医薬品と品質・有効性・安全性が同等であるものとして厚生労働大臣が製造販売の承認を行っている医薬品です。

## バイオ後続品（バイオシミラー）とは

バイオ医薬品は、複雑なタンパク質を有効成分とするため、先行品と全く同じものを作ることが困難です。バイオ後続品（バイオシミラー）は、構造にわずかな違いがあっても、有効性や安全性は同等である医薬品で、先行品の特許終了後に販売される医薬品です。



# 院内感染対策への取り組み

- 1 感染対策を専門に担う部署と院内感染対策委員会を設置し、各部署との協働のもと、手洗い励行など日常的な感染防止対策に取り組んでいます。
- 2 来院される皆様には、手指消毒やマスク着用にご協力をいただいています。
- 3 抗菌薬の適正使用を推進するとともに、MRSAなどの薬剤耐性菌の伝播防止やインフルエンザやノロウイルスの蔓延防止に努めています。
- 4 地域の関係医療機関と連携し、感染防止に向けた取り組みを積極的に推進しています。



# 緊急時の対応について

治療中、患者さんの不安や緊張、様々な身体的ストレスなどによって、体調が悪くなることがあります。患者さんが安心・安全に歯科医療を受けられるよう、当院では次の体制をとっております。

- ・ 救急処置に備え、院内に AED を設置しています。
- ・ 緊急時は、院内一斉放送により、勤務中の医師が現場に駆けつけて救急処置を行います。
- ・ 安全対策に関する委員会で、事故防止に必要な情報の収集や、対策の周知・教育を行います。

